

No. 20

(社)日本建設機械化協会
中国支部

H18, WIN

CMnavi

「みる・きく・ふれる 国土建設フェア2006」参加

みる・きく・ふれる国土建設フェア2006

国土交通省中国地方整備局が主催する「みる・きく・ふれる国土建設フェア2006」が開催され、当支部も実行委員として参画した。

期 日 9月29日(金)～30日(土)

場 所 広島グリーンアリーナ
基町中央公園

参加者 17,700名



<主催者によるテープカット>

(社)日本建設機械化協会中国支部コーナー出展状況



<バックホウの達人による実演を見よう>
(協力会社 コベルコ建機株式会社)



<ミニバックホウに乗って写真を撮ろう>
(協力会社 コマツ中国株式会社)



<高所作業車に乗って高い所から見学>
(協力会社 西尾レントオール株式会社)

ミニチュアショベルプレゼント

当選者

A賞 筒井美代子
B賞 竹内健司
C賞 馬原鉄志 中曽一彦 大平侑生
新田みどり 牧ひとみ 岡 定徳
八木真由美 山野井真子

(賞品提供 コベルコ建機株式会社)



<抽選会>

機械施工技術検定試験の実施結果

建設業法に定める建設機械施工技術検定制度に基づいて、当協会が実施機関となって行っている建設機械施工技術検定試験の平成18年度の試験実施状況は、次のとおりである。

1) 学科試験

平成18年度の学科試験は6月18日全国一斉に（中国地区では広島工業大学）実施しました。

平成18年度建設機械施工技術検定学科試験（中国）

	受験者	合格者	合格率
1級	138名	35名	25.4%
2級	365名	226名	61.9%
合計	503名	261名	—

2) 実地試験

平成18年度の中国地区での実地試験は、広島（扇二丁目多目的広場）及び出雲（長浜工業団地）において9月2日～3日に両会場で開催しました。

平成18年度建設機械施工技術検定実地試験（中国）

	受験者	合格者	合格率
1級	41名	38名	92.7%
2級	244名	215名	88.1%
合計	285名	253名	—



<広島会場 試験実施状況>

中国支部行事の紹介

12月以降の講習会等行事予定

日時	行事名	内容	参加者
12月14日	最近の機械化施工研修会	民衆のために生きた土木技術者たち 営業線を切り替える ～現在線の仮受け・撤去～ 新時代のトンネル構築システム ～SENS～ 苫田ダムof歩み プロジェクトX 爆発の嵐 ～スエズ運河を掘れ～	一般募集
19年 1月予定	建設工事の安全対策講習会	建設工事における事故防止のための取り組み	一般募集
2月予定	第20回 わが社の「新技術・新工法」発表会	発表課題を募集しています。	一般募集

注1. 当協会で開催する講習会、発表会、研修会等は、全国土木施工管理技士会連合会にかかる継続学習制度（CPDS）並びに日本技術士会にかかる継続学習制度（CPD）等の学習プログラムとして認定されております。

10月から11月までの講習会等行事報告

■ 第57回新技術活用研修会の開催

10月27日中国電力株式会社島根原子力建設所並びに国土交通省斐伊川・神戸川総合開発工事事務所の協力により研修会を開催した。

対象技術

島根原子力発電所3号機建設工事
（島根県松江市鹿島町）

大規模土工及び本館基礎のドライ掘削等について説明を受けました。

志津見ダム建設工事

（島根県飯石郡飯南町角井）

7月豪雨により、コンクリート打設面及び建設機械が土砂に埋まる等の被害を受けており、被災状況と復旧対策について説明を受けました。

参加者 21名

■ 最近の公共工事を取り巻く話題講習会の開催

11月22日広島市（国際教育センター）において開催した。

内容

公共工事の品質確保の取り組み

国土交通省中国地方整備局企画部 技術管理課
建設専門官 神宮祥司氏

公共工事のコスト縮減・リサイクルへの取り組み

国土交通省中国地方整備局企画部 技術管理課
課長補佐 梶井芳樹氏

参加者 60名



<敷地造成状況>



<被災状況の説明>



<講習状況>

オフロード車の 排出ガス規制が始まります。

「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(通称:オフロード法)による
オフロード車(特定特殊自動車)の使用規制が始まります。

規制の開始後は、基準適合表示(あるいは少数特例表示)が付された
特定特殊自動車の使用が義務づけられます。

(注:規制の適用日より前に製作されたオフロード車は規制の対象外です)



【排出ガス基準適合車マーク】



【少数特例基準適合車マーク】

規制の対象になる自動車:公道を走行しない特殊自動車



バックホウ



コンバイン



フォークリフト



ブルドーザ

代表的な特定特殊自動車の例

その他、特定特殊自動車に該当する自動車の例

ショベル・ローダ、タイヤ・ローラ、ロード・ローラ、グレーダ、ロード・スタビライザ、スクレーパ、ロータリ除雪自動車、アスファルト・フィニッシャ、タイヤ・ドーザ、モータ・スイーパー、ダンバ、ホイール・ハンマ、ホイール・ブレイカ、フォーク・ローダ、ホイール・クレーン、ストラドル・キャリア、ターレット式構内運搬自動車、農耕トラクタ、農業用薬剤散布車、田植機、連続式バケット掘削機、くい打ち機及びくい抜き機、アースオーガー、タワークレーン、ドリルジャンボ等

環境省・経済産業省・国土交通省

【規制の適用日】

●ガソリン・LPGを燃料とする特定特殊自動車

定格出力が19kW以上560kW未満のもの

平成19年10月1日(継続生産車及び輸入車は平成20年9月1日)

●軽油を燃料とする特定特殊自動車

定格出力が19kW以上37kW未満のもの

平成19年10月1日(継続生産車及び輸入車は平成20年9月1日)

定格出力が37kW以上56kW未満のもの

平成20年10月1日(継続生産車及び輸入車は平成21年9月1日)

定格出力が56kW以上75kW未満のもの

平成20年10月1日(継続生産車及び輸入車は平成22年9月1日)

定格出力が75kW以上130kW未満のもの

平成19年10月1日(継続生産車及び輸入車は平成20年9月1日)

定格出力が130kW以上560kW未満のもの

平成18年10月1日(継続生産車及び輸入車は平成20年9月1日)

※継続生産車：規制の適用日前に製作した特定特殊自動車と同一の型式の特定特殊自動車

Q & A

- Q1 これまで使っていた特殊自動車が使えなくなってしまうのか。
- A1 上記の規制適用日以後に製作された新車に対する規制であり、現在使われている特殊自動車が使用できなくなるものではありません。
- Q2 海外から輸入した特殊自動車も基準適合表示が付いていない場合は使用できないのか。
- A2 そのとおりです。ただし、個人で個別に海外から購入する場合には、個別に検査し、排出ガス性能を確認する制度を設けております。
- Q3 この法律は使用する燃料も規制するものなのか。
- A3 本法律においては、使用する特定特殊自動車の燃料の種類その他の事項について必要な指針を定め、これを公表すると規定しております。これは、特殊自動車製作者が推奨する燃料以外の燃料を使用した場合、エンジンが劣化し、排出ガス性能が悪化する恐れがあるためです。そういったことを十分認識し、適正な燃料の使用をお願いします。
- Q4 金融・税制上の優遇措置はあるのか。
- A4 中小企業金融公庫・国民生活金融公庫・日本政策投資銀行による低利融資制度を設けるとともに、規制適用前に基準適合表示が付いた特定特殊自動車を取得された方に対しては、固定資産税の優遇制度が認められています。詳細は各金融機関、市町村にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先：環境省 水・大気環境局自動車環境対策課オフロード法 担当

電話番号：(代)03-3581-3351(内線6525)

http://www.env.go.jp/air/car/tokutei_law.html

■ 会員紹介コーナ

株式会社 技 工 団

所在地 [〒753-0078 山口県山口市緑町6番13号] 会社設立 [昭和23年3月5日]
代表者 [末永正邦] 創業 [昭和21年5月]
電話 [083-922-2626] F A X [083-923-5355]

技工団の『技』は技術者、『工』は中国の言葉で労働者を意味する工人、『団』は組織を表します。



＜山口情報芸術センター＞（施工／大林組・安藤建設・旭建設工業・技工団特定建設工事JV）

当社の創業は終戦間もない1946年、旧満鉄引揚者の『技』と『工』が団結し、荒廃した国土の再建にあたったのがはじまりです。爾来、蓄積された鉄道建設の技術により、軌道工事、土木工事、建築工事、鉱山土木、地盤改良工事などを手掛けてきました。

『自然体です。』というキーワードの下、変化する環境へいつでも反応できる自然体の構えに努めており、品質方針『常に創意工夫に努め、お客様に信頼され、高品質かつ満足していただけるモノ創りとサービスを提供』に取り組んでいます。

宝 宝物産株式会社

所在地 [〒733-0833 広島市西区商工センター5丁目3番2号]
代表者 [吉田和男] 創業 [昭和19年9月] 会社設立 [昭和21年3月]
電話 [082-278-0044] F A X [082-277-7591] E-mail [info@takarabussan.co.jp]
URL [http://www.takarabussan.co.jp]
営業所 [廿日市・備後・防府] 関連会社 NPK中国・宝ビル

社是である「誠実を重んじ 最善を盡せ」をモットーとし昭和19年以来60年余り建設機械専門商社として地歩を固め、商品の提供のみならず、独自のノウハウや技術・サービスを提供することのできる『技術集団』として広く評価頂いております。

会社の沿革

昭和19年呉市に創業し、昭和21年広島市に本社を移し社名を広島建設工業とし、昭和26年建設業の経験をもとに、ベルトコンベアー・棒状パイプレーター等を製造し、『宝式』の名のもとに販売会社宝物産を設立し、現在の基盤となり、昭和36年広島建設工業を宝物産株式会社に併合し現在にいたる。

会社の特徴

当社は先述の通り歴史的にも製造業としての素地があり、メーカー志向体質を持ち、各部門が、メーカー代行機能を有し、各セクションのノウハウや情報を横断的に共有し、当社独自の販売や、修理、メンテナンスのハードサービス、専門知識や技術のソフトサービス体制を整えています。



＜社屋＞

機械部、建設機械や建設リサイクル装置等
産機部、凍結防止剤散布車、又維持用の機械装置等

リース部、解体機のレンタル等
設備部、立体駐車場、空調設備等

未来を見つめて前進する

製品紹介

様々な現場条件にもフレキシブルに対応できる多彩なマシン群



ADO1/空圧式アタッチドリル



YTB-1120/トンネルビッター



HCD-101/油圧式クローラードリル



ADLF-LD-90/空圧式アタッチドリル



ARDSP135M/スペースドリル



HCD-301/油圧式クローラードリル



CDH-831 II /油圧式クローラードリル



YRJ-210・235/レールジャック



YBR-45/ビットローラー

空圧・油圧さく岩機製造・販売



ヤマモトロックマシン株式会社

本社/東京都千代田区丸の内3-2-3 富士ビル 713 区 (〒100-0005) TEL(03)3201-0701(代)

工場/広島県庄原市東城町東城 36

(〒729-5124) TEL(08477)2-2137(代)

営業所/東京・東城・仙台・大阪・高知・福岡

URL <http://www.yrm.co.jp/> E-mail: info@yrm.co.jp

■ 開発普及部会紹介

「主として、建設工事に関する新技術・新工法の調査を行うと共に新技術・新工法に関連する発表会、機械化施工研修会、新技術活用現場研修会等を通じて新技術の普及を図る。」

具体的な事業活動として、「わが社の新技術・新工法」の発表会及び新技術が導入されている現場を訪れ、新技術の内容と取り組み状況を習得する「新技術活用現場研修会」並びに「映像（VTR）による新技術活用工事現場の紹介」を実施し、技術士（CPD）及び土木施工管理技士（CPDS）の受講証明書を発行しております。

これらの事業には、参加された皆様にアンケートのご協力をいただきニーズの把握に努め、次回の開催時に反映していますので、開催する各事業に皆様方の積極的なご参加をお待ちしております。

また、その他の事業活動としては、中国地方建設技術開発交流会等の協賛事業に参画しています。

これからも、会員の皆様が必要とされるサービスをお届けするために、努力を重ねて参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



<研修会開催状況 豊島大橋 主塔基礎>

開発普及部会

■ お知らせ

◆10月に当支部事務室の様態替えをいたしました。ごんまりとして、使いやすい部屋になりましたので会員の皆様も近くにいられましたら、是非お立ち下さい。

◆先般秋の叙勲において、当支部の会員ありです、元（社）鳥取県建設業協会会長をされておられました株式会社井木組会長井木久博様が荣誉ある旭日双光章を受賞されました。誠におめでとうございます。



<中国支部事務室>

■ 編集後記

後期運営委員会も終り、18年度下半期の講習会等の行事も毎月1回と進めて参りたいと思いますので、引き続き会員の皆様のご協力をご指導を宜しくお願いいたします。

さて、広報部会ではCMnaviとホームページの両輪で広報活動につとめておりますが、CMnaviも創刊号（平成10年春）以来、特集号も含めて21回発刊することができました。

また、平成15年度に開設した（社）日本建設機械化協会 中国支部ホームページのアクセス数も11月29日現在13,162件と多くの人に利用されており、これも、ひとえに会員の皆様のご協力のご指導の賜と感謝申し上げます。

今回からお知らせコーナーを設けましたので、日頃会員にお知らせしたいことがありましたら事務局の方に連絡してください。

今回は、「みる・きく・ふれる 国土建設フェア2006」参加状況、機械施工技術検定試験の実施結果、中国支部行事の紹介、オフロード車の排出ガス規制、会員紹介、部会紹介等をまとめてみました。

CMnavi編集委員会